

しのぶ

平成19年

第35号

2007.8

市議会だより

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



中心街活性化センター「ふらっと」

(記事はP9に掲載)

平成19年
第2回
定例会
6月4日～6月18日
(15日間)

主な内容

- ・議決結果…………… P 2
- 国民健康保険税の賦課限度額を改正
- ・一般質問…………… P 3～7
- 9名の議員が市政全般について質問
- ・委員会報告…………… P 8・9
- ・議会日誌・編集後記等…………… P10

改選後初の定例議会

ベベルイ(原始の泉)地域資源を商品化へ

平成19年第2回定例会は、6月4日に招集され15日間の会期で開かれました。今定例会では、平成19年度各会計補正予算のほか、条例の改正や教育委員の任命など市長側提出11件、議会側提出では、意見案6件が提案されました。

各議案について慎重に審議を行った結果、全て原案どおり可決または、承認しました。また、6月11日・12日の2日間は、9名の議員による市政に関する一般質問を行いました。

平成19年度補正予算

◇次の補正予算を原案のとおり可決しました。

●一般会計（第2号）

歳入歳出に、それぞれ445

6万8千円を追加し、総額1
23億906万8千円になりました。

後期高齢者医療システムの導入に伴う器具購入費3885

万円、前年度老人医療費支払基金交付金の精算に伴う繰出

金1398万6千円、富良野

岳山麓ベベルイの地下水を活用した地域資源を製品化販売

調査のための地域特産品振興対策事業費361万円などの追加と、知事及び道議会議員選挙費並びに市議会議員選挙主なものとなっています。



吉田幸男氏

人 事

●教育委員会委員の任命

平成19年6月17日をもつて任期満了となる吉田一雄氏の後任として、吉田幸男氏の選任に同意しました。

〔賦課限度額〕

平成19年第2回定例会は、6月4日に招集され15日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成19年度各会計補正予算のほか、条例の改正や教育委員の任命など市長側提出11件、議会側提出では、意見案6件が提案されました。

各議案について慎重に審議を行った結果、全て原案どおり可決または、承認しました。

また、6月11日・12日の2日間は、9名の議員による市政に関する一般質問を行いました。

条 例

◆一部が改正された条例の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

富良野市指定管理者選定委員会に加える民間委員と新たに設置される男女共同参画推進委員会委員を追加し、廃止された山部地区生活改善センター運営委員会委員と勤労青少年ホーム運営委員会委員を削除するものです。

●老人保健特別会計（第1号）

平成18年度老人医療費の精算によるもので、老人医療費支払基金交付金の返還金1398万6千円の追加です。

●水道事業会計

道々山北部北の峰線・道々奈江富良野線の道路改良工事に伴う配水管新設工事費1040万円の追加です。

●富良野市立養護老人ホーム設置条例の一部改正

老人福祉法・介護保険法の改正により、養護老人ホームの入所者が要介護等の状況になつた場合には、介護保険サービスの利用が可能になつたことによる改正です。

●5区3線配水管設置工事請負契約の締結について

地域高規格道路富良野道路の建設に伴い、雨水流未排水を整備するもので、北海道開発局より委託を受けた工事の請負契約締結（1億5540万円）を議決。

●繰越明許費繰越計算書について

平成18年度内に完了が困難な平扇地区農免農道整備事業負担金、西中学校バリアフリーリ改修事業、介護保険システム改修事業、以上3件の翌年度繰越について報告。

●事故繰越計算書について

平成18年度内に支出を終わらなかつた土地明渡し訴訟委託料、市道北斜北線側溝改良、中心市街地支障物件移転補償、以上3件の翌年度繰越について報告。

その他の案件

・医療給付費分

53万円↓56万円

・介護納付金分

8万円↓9万円

●専決処分報告

市道における物損事故の損害賠償について報告。

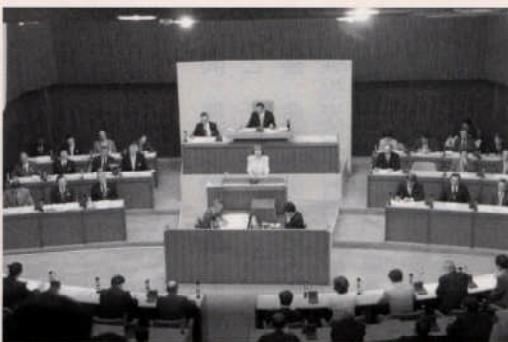
市の考え方を問う!!

市政に関する

一般質問

今定例会では、6月11日、12日の2日間、9人の議員が農業行政をはじめ、保健・福祉、建設、一般行政、など市政全般について、市長の見解をいただきました。

なお、原稿は質問者が作成し、文責は本人にあるものとして、質問・答弁の要旨を掲載しました。



地域高規格道路旭川土勝道路
環境配慮と市の負担は

◇富良野北道路について
【その他の質問】

現国道の改良、拡幅、道

々、市道、旧国道との連携に

より、地域事業を増やし、経

済の活性化が行われると思う

が、自然への配慮対策、この

道路に関連する富良野市の負

担はいくらになるのか。

答 緑豊かな道路づくりを目指すため、「富良野道路環境整備地域懇談会」を開催し、市民の皆様からの意見を頂いている。富良野道路建設に於ける市の負担は直接的には発生しないが、市道の拡幅、排水路の改修等、事業関連としては約6千3百万円を見込んでいます。

答 緑豊かな道路づくりを目指すため、「富良野道路環境整備地域懇談会」を開催し、市民の皆様からの意見を頂いている。富良野道路建設に於ける市の負担は直接的には発生しないが、市道の拡幅、排水路の改修等、事業関連としては約6千3百万円を見込んでいます。

問 この条例は、ポイ捨て禁止のために作られた条例であるが、色々なゴミ（空き缶・紙くず・タバコの吸殻・犬の糞など）が投げられている。市民に対してこの条例の周知を具体的にどのようにされたか。また事業内容は。

答 条例制定以来、市民への啓発の広報掲載をはじめ、チラシの全戸配布、地域説明会の開催。小・中学校での環境学習の取り組み、春・秋の地域環境美化運動を条例に基づき開催し、趣旨について理解を頂きながら進めている。美しい地域環境を守るために、地域ぐるみの取り組みが重要なこと、環境美化に対する理解を得られるよう、普及啓発に努めしていく。

天日公子
「民主クラブ」

問 市民意見の募集、パブリックコメントと手続きがされているが、「まちづくり三法」との兼ね合い、今後のタイムスケジュール。具体的案について。

答 庁内組織で、協会病院跡地利活用基本方針（案）を定め、パブリックコメントを実施した。まちづくり三法との

宮田均
「無所属」

兼ね合いは、「新富良野市中心市街地活性化基本計画」の策定に向け跡地、地域の空き地・空き店舗の利活用、さらには、「くにい」空き店舗の利活用を含め、総合的、一体的に検討する。また、国が進める中心市街地の活性化事業支援の各補助金、交付金等を活用する。跡地利活用については、中心市街地の総合的な計画として、「富良野市中心市街地活性化協議会」の方向性を基本として取り進めてゆく。

問 画」の策定に取り組み計画の具体案についても情報提供する。



協会病院の解体

フアミリーサポート
制度導入の考えは

問 保育所の時間外、親の急な病気、子供の病気等援助が必要な時、フアミリーサポート制度が各地で出来ているが導入の考えは。

答 援助の要望が少なく、年間の事業量がないことで創設には至っていない。援助の内容利用時間、利用頻度などの把握に努め検討する。

問 富良野市のポイ捨て禁止

の看板が見にくい。



答 観光地として十分認識しなければならない。もう一度精査してどこが見て頂ける場所なのか検討していきたい。
問 市長の指定する職員の担当部署、今まで指導・勧告・命令をした事実はあるのか。
答 立ち入り調査の部局は市農業生活課であり、空き地の管理・草刈・自宅周辺のゴミの散乱、犬の糞や猫の放し飼いなど、年間30~40件の指導を行っており、勧告・命令については無い。

問 空き缶の回収容器が設置されていない所もあるが、どのような経過なのか。
答 空き缶回収容器の設置は、平成15年度78.2%で、10.0%を目標としていかねばな

らないという考え方で進める。条例の理解を深めると共に、設置の状況の調査をしていくたい。

広域で野外焼却の取組みは

問 富良野市として農業観光やクリーン農法に取り組む中、温暖化の一因となるあぜ草の野外焼却禁止の周知を、富良野広域で取り組む必要があるのではないか。

答 あぜ草の焼却については害虫駆除などの目的もあり認められているが、火の粉や煙の周辺への影響、環境への配慮などが当然必要である。農村地区の野焼きについては、現在、JAふらのや関係団体に対して、適正処理をするよう指導啓発を行っている。

問 市長の指定する職員の担当部署、今まで指導・勧告・命令をした事実はあるのか。
答 立ち入り調査の部局は市農業生活課であり、空き

岡野 孝則 〔民主クラブ〕

農村観光都市形成

問 観光都市として、長期滞在型観光地への体制、基盤などを含めた環境整備内容は。

答 本市の山岳田園風景はも

とより、一次産業を中心とした農・林業の体験や、文化・芸術・学術・スポーツなど、優れた人材を有し、様々な観光資源の豊かな地域であり、短期・長期滞在型観光を推進し、タイムリーな情報提供、イベント開催など、今後とも、滞在者のニーズに応える体制の基盤整備を図つて行く。

問 農業と観光業との連携策と、その団体名、事業内容は。



答 農業者の取組み支援、体験観光受け入れのためのネットワーク化を図り、農業の大しさ、自然環境などを再認識し、連携する団体は、農業としてJAふらの、ファームイン研究会、バイオニア会など、観

光業としては、観光協会、宿泊施設団体、NPO法人などと連携し、事業内容は、農作業体験、工芸観光、演劇、文化など、市民と同じ生活ができる半住民として事業推進。

問 農村観光都市形成の将来展望と目標は。

答 市内各関係機関、団体を交え、富良野市国内観光振興計画を策定し、今後、目標と経済効果等を示して行く。

本市の雇用対策

問 本市の雇用状況を伺う。

答 昨年の有効求人倍率は、全国で1.02倍、全道で0.

53倍、旭川管内で0.48倍、富良野地区は0.73倍で、一

次産業、各企業の努力により全道平均を上回っているが、依然厳しい状況である事は認識している。

問 過去3年間推進した雇用促進協議会の成果と今後は。

答 雇用促進協議会設置により、人材育成などの事業を開、新規雇用者は、160名で一定の成果を見た。今後は、

於いては本年5月28日に沿線

による、富良野広域経済活性化協議会を設置、地域雇用創造推進事業（新ページ）事

業）採択に取り組む方針。

問 市内には無い製造業等の企業誘致の考えは。

答 市内への企業推進、市内事業者の事業拡大促進のため、昨年12月、富良野市企業振興促進条例を改正、指定要件緩和、今後とも、本制度を積極的にPR、農業やIT関連など、企業誘致に取り組む方針。

覚幸伸夫 〔民主クラブ〕

東西アクセス道路の考え方

問 富良野協会病院の移転により、駅前市街地の車および人の流れが変わり、中心市街地の活性化が損なわれる。駅

東と駅西を結ぶ、駅構内を交差するアクセス道路について、平面交差の進捗状況と立体交差の可能性を伺う。

答 現在、平面交差はJRと駅舎の利活用問題、バリアフリーを優先的に進めて、この課題整理のあとにアクセス道路の課題に取り組む考えである。また、立体交差の可能性については用地の確保、交通

一般質問

体系、事業手法および財源確保等の課題解決に時間を要するものと考える。

森林整備に係る雇用は

問 世界的伐採規制および海外からの木材の輸入の減少により、道産材が注目されはじめ森林整備を促進させて、地場産業の活性化を図り、雇用を拡大する事を考える時では



問 高齢化社会での住居や施設を民間活力で、市街地に建設を推進してはと考る。医療機関へのネットワーク、タウンモビリティーを活用して、中心市街地の活性化を推進させて街づくり、住まいづくりの都市計画の考えは。

答 市街地における高齢者の住まいづくり、福祉施設づくりは、相互扶助や生きがい、地域コミュニティ等が含まれた施設として、必要であ

高齢者の住まいづくりを

ると認識しており、今後の課題として受け止めて行く。

火葬場の新設

問 富良野市広域連合協議会の進める中では、お互い必要としている火葬場の共同施設建設をどのような考え方を持っているのか。

答 富良野広域連合準備委員会の火葬場専門部会の中で検証をしており、今後の検討課題であり、5市町村全体の意見をまとめた部会の報告を尊重して委員会の中で判断する。



駅前広場工事期間中の
車両誘導対策は

問 5月1日から12月20日まで行われている駅前広場工事

期間中の交通規制は、市民への周知や観光客への案内が不

足していて混乱を招いていると考える。駅前乗降を目的と

する方への車両誘導、観光案内所利用者への駐停車場所、

答 市民並びに観光客の安全確保から駅、インフォメーシ

ヨンセンターなどへの誘導看板並びに誘導路の確保を施す。方の駐停車場所については行程で変動するが、可能な限り臨時駐車場を確保する。

駅周辺遊のため駐車場を探す方への案内は、案内看板により周辺4カ所の駐車場へ誘導する。東4条通りの交差点安全対策として仮設の一旦停止標識、交差点手前及び一定区間に減速、注意喚起の標識を設置して安全確保を図る。障害者用の駐車スペース対策は、工事期間中の安全確保が難しい状況にあり、駅前北公園等の駐車場を利用して頂きたい。

バランスシート改革は

問 自治体の財政破綻を招かないよう、一般会計と公営企業会計、公社、第3セクタ

ーまで対象を拡げた連結バランスシートにより、自治体の健全性を評価し早期の再生を促す再建制度が始まる予定とされている。また、昨年5月に総務省が精度を上げるために、改善された報告書方式のバランスシートを導入検討される自治体が増えてきたが、

富良野市の取り組みは。
答 市民の視点から、より詳しくわかりやすいバランスシートの作成を求める意見を伺っているが、新たな公会計制度の導入促進には、専門知識や事務処理負担を要する資産評価方法など諸課題もあり将来的に検討する。連結バランスシートも市全体の財政状況を把握し判断する上で有効な資料と考えるが、当面は市の会計に限定した連結バランスシートの研究を進めたいと考える。

佐々木 優

「日本共産党」

住民税増税が暮らしを直撃

問 定率減税の廃止と税源委譲により大増税。特に、高齢者は昨年に続く増税。関連する国保税や介護保険料は来年も、さらに負担増となる。生きる権利を奪うものである。暮らし・地域経済への影響は

答 税負担は、基本的には変わらない。定率減税・老年者非課税制度の廃止により税負

担が生じる。少なからず、地域経済に及ぼす影響はある。

問 収入が全く増えないので、税負担が増える。市民は理解出来ない。苦情や問い合わせへの丁寧な対応、詳しい説明が必要である。なぜ、定率減税が廃止されたのか、市民に周知を図る必要がある。

答 市民の理解に関わらず、親切丁寧に改正内容・制度の説明をする。

問 暮らしを困難にしている根源は国政にある。市民の代表として、国にしつかりものを言うことが必要である。

答 趣旨を踏まえ、国や道内選出国会議員、上級関係機関に対し、私なりの行動をとる。

活性化センター「ふらっと」の目標達成のために

問 市民の要望に応え、機能と使命をどれだけ果たせるのか。駅前再開発事業全体の成否を決定する重要な施設である。指定管理者制度により運営しているが、主要な部分である健康増進施設は、再委託をしている。市民と市の間に二つの会社が存在しているため、市民からの要望・市の指導など、届きづらい状況にあ

る。また、再委託先の監視機能をどのように図るのか。

答 河川固体草刈りボランティア制度を活用する。



いきいき教室

富良野の姿と財政課題

問 今年度、市政執行方針で「身の丈にあった」安定した健全財政確立を表明したが、計画の検討項目は。

答 市民サービス向上のための業務支援である。総合的な監視体制をとるのは当然であるが、指定管理者制度の契約に従い、監視というより効果的・効率的な運営のために指導していく。

問 医療費の抑制などで、年間1億2千2百万円の効果があるとして建設された。どのように実現していくのか。

答 指定管理者と常に連絡調整を取りながら、全力を傾注し運営していく。

問 河川の管理が大



財政の健全化をめざす富良野市

木の伐採などの取り組みは、

答 河川固体草刈りボランティア制度を活用する。

問 健全化計画における市民生活に関する負担については。

答 不足する財源状況の検討をしているが歳入確保も不可避と判断している。上下水道料金、ゴミ処理手数料も検討項目と考えている。

問 計画には市民の皆さんと共有できる富良野の将来を提起すべきと思うが見解を伺う。

答 市民にとっては、将来的な不安を抱かせる側面もあると認識している。自立していくためには、財政の現状を市民と共に認識で市民生活に配慮し、将来的なまちづくりに向けた政策の配慮も重要と考えている。情報開示と意見を求める市民の理解が得られるよう取り組みたい。

答 地方交付税等がどこまで削減されるかは不透明であるが、市民ニーズの中で財政的な効率を重視し、歳入見合いの予算を実現するため、自助・共助・公助を基本に歳出抑制と歳入の確保を図り、新規事業等の投資的事業抑制、事務事業の見直し、行政改革推進計画に基づく検討をしていく。

問 現在の総合計画後期実施計画と新総合計画との関連は。

答 財政健全化計画における重点政策を明確にし、市民が安心した生活を実現するための事業を実施していく。

農地流動化対策は

問 農業の国際化、扱い手不足に対応した新たな農地評価を行なうべきではないか。

答 農家の減少拡大が予想されるなか、農業委員会の農地評価と価格の検討を始めてるので協力していきたい。

答 (農業委員会会長) 昨年9月農地評価プロジェクトを立ち上げ具体的な評価手法について調査研究を進めている。関係機関との連携指導協力を進め一定の方向を示し提起する。

問 農地流動化を促進するには地籍調査を行うべきでは。

答 農地流動化対策に有効性が高いと認識している。当分の間は困難であるが、将来の課題として受け止めている。

問 大栗 民江

〔公明党〕

子どもを安心して産める環境づくりを

一般質問

答 1月より母子手帳交付時に、マタニティーキーホルダーを渡し63%の希望があった。今後、ポスター等による市民周知、及び、啓発を図ると共に、取り組みを検討していく。



マタニティーマークとキー ホルダー

問 全国共通のマタニティーマークの認識度は、さらなる普及促進と市民への意識促進についての今後の考えは。

問 子供との外出に非常に不便なことは、「トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと」と次世代育成に関するニーズ調査では、第1位にあげられている。行動計画策定から2年が経過した、現在の対応状況は、今後の予定と取り組みについての考えは。

答 公共施設における設置は子供用便座2、小便器1、授乳の申出対応可能が3、オムツ替えシート3、オムツ替えド3が現在の状況。平成20年度にハイランドふらのに1施

答 2回の検診費用の助成を今後も継続していく。5回については、検討していく。

問 妊婦検診について厚生労働省は、5回無料を全国基準とする方針を決定した。家計や母体、胎児のためにも5回に拡充する考えは。

答 妊娠時期は、母体の変化に伴う生活環境や精神的なことで影響を受けやすい時期、母親の負担軽減と父親の子育てを応援する父子手帳を作成し、希望者に配布すべきと考えるが、見解は。

答 父子手帳を配布している自治体があることは承知している。今後も父子手帳を新たに発行するのではなく、母子手帳を父親にも活用してもらうよう交付や検診の機会を通して取り組む。

問 妊娠時期は、母体の変化に伴う生活環境や精神的なことで影響を受けやすい時期、母親の負担軽減と父親の子育てを応援する父子手帳を作成し、希望者に配布すべきと考えるが、見解は。

答 平成18年度実績では、ゴミ処理券6128枚、小型電気袋は1422枚を交付。市内の商店や収集業者とも協議していく。

問 粗大ゴミ処理券を、商店やコンビニでも取り扱えるよう拡大すべきと考えるが。

答 粗大ゴミ処理券を、商店やコンビニでも取り扱えるよう拡大すべきと考えるが。

答 ①農業生産を中心と考えてきたが、今後は消費者の理解や食農教育、環境に配慮した農業の推進など、広く農業を支援していく。②新たな農業計画の中で明らかにしていき直しは。

問 ①市の農業に対する基本的な考え方。②農業政策の見直しは。

答 ①農業生産を中心とした役割。②法定協議会とは、市の関わりは。③協議会内での協会病院跡地利用基本方針とパブリックコメントの扱いは。④民間活力による開発とは。⑤財政健全化計画と総合計画との関連は。⑥今後のスケジュールは。

問 第二次農業計画は、富良野農業の目指す方向や取り組みについて、平成11年に策定され、この農業計画を基に、富良野農業の確かな未来を目指して多くの事業を推進してきたが、①実施計画の進捗状況と課題。②農業政策を推進する中の課題は何か。③その課題の要因は何か。

答 ①消費者意識の変化と農業環境の変化。課題を踏まえて実現に向けて取り組んでい



答 ①「まちづくり三法」が改定され、それに合わせて富良野市も新たな「まちづくり」の仕組みの中で、中心市街地の活性化を図るために、商工会議所、まちづくり会社が中心となり、富良野市中心市街地活性化協議会が設立され、「中心市街地活性化基本計画」の策定を進めているが、①市街地77haの今後の考え方と市の役割。②法定協議会とは、市の関わりは。③協議会内での協会病院跡地利用基本方針とパブリックコメントの扱いは。④民間活力による開発とは。⑤財政健全化計画と総合計画との関連は。⑥今後のスケジュールは。

問 第二次農業計画は、富良野農業の目指す方向や取り組みについて、平成11年に策定され、この農業計画を基に、富良野農業の確かな未来を目指して多くの事業を推進してきたが、①実施計画の進捗状況と課題。②農業政策を推進する中の課題は何か。③その課題の要因は何か。

答 ①人々が暮らしやすい賑わいのあるコンパクトなまちづくりを進める。②事業計画作成の中心的役割を担う組織であり、基本計画の認定に向け任務分担と連携により取り組む。③市街地の機能の増進と地域の活性化が重要と認識し、協議会と連携し、年度内に基本計画を策定する。④事業開発のノウハウと資力を活用し、公募方式で、導入を行う。⑤後期実施計画との整合、財政健全化計画との調整を図る。⑥現状認識を適正に捉え、協議会と連携、任務分担し一定程度内に策定する。

常任委員会の動き

総務文教

本委員会では、次の所管に関する調査と付託された議案等について審査を行います。

所管は総務部、支所、会計

課、選挙管理委員会、監査委員会、公平委員会、教育委員会、他の委員会の所管に属さない事項となっています。

□学校教育施設の現地調査

第2回定例会において、事務調査第1号「学校教育施設について」の許可を得て、7月4日・9日の2日間にわたり市内の全小中学校、15校の現地調査を行いました。

□教育政策は重要な政治課題

少子化は急速に進み、本市においても、学校統合が進められつつあります。また、全国的な傾向として、教育予算・教育水準の格差が広がつている事が報告されています。国による教育改革の議論も進められており、教育政策は今、重要な政治課題であり、学校を取り巻く環境の変化も著し



学校施設の調査

いものがあります。

この様な状況を踏まえながら学校施設の整備に際しての諸問題について調査を進め、

委員会としての考え方を整理し、第3回定例会（9月）の結審に向け努力して参ります。

市民福祉

改選後初の議会が5月11日に招集され、各常任委員が選任・決定いたしました。今回

市民福祉委員会は、新人議員2人を含む6名でスタートすることになりました。

市民福祉委員会は、市民の皆様の生活との関わりが最も深い委員会であることから、

皆様の声を十分に調査・研究し議会に反映して参りたいと考えているところであります。

□介護保険と介護サービス

さて、この度市民福祉委員



富良野市の介護サービス冊子

は悪くなる一方であります。私達は介護難民を出さない出させないをモットーに、市民本位、利用者本位の在り方を調査するものであります。

この他に委員会は、市民への窓口対応、環境、学童、保育、寿光園などを所管しておりますので、今後とも数多くのご意見をお寄せください。

委員長 今 利一
副委員長 岡 野 孝則
委員 大栗 江均
委員 東海林 均
委員 大橋 秀江
委員 江行一

経済建設常任委員会は、経済建設部、建設水道部、農業委員会の所管する事項について、より構成されています。各委員の思いや意見を委員会活動の中で十分生かし、さらに市民皆様の協力を頂き、「住みよいまちづくり」のための委員会運営をして参りたいと思います。

今定例会において、事務調査第3号「道路・橋梁の維持管理について」を調査事項とし、道路・橋梁の維持管理に関わる保守・点検の実施の方



道路・橋梁の現状調査

常任委員会の動き

議会改革特別委員会は、平成17年第4回定例会において、初めて設置され、市民により身近な議会のあるべき姿の検討や議員定数の削減、議員報酬の削減などに取り組んでまいりました。議員定数は2名の削減を行い、定数18名で、本年4月に改選が行われたところであります。

□議会改革は普遍のテーマ

改選後の代表者会議において、引き続き特別委員会の設

議会改革

委員長 菊地敏一
副委員長 千葉健一
委員 岡瀬公人
委員 天野雅人
委員 日里俊子
委員 岡本里子
委員 岡田至子

法、パトロール体制の現状、道路・橋梁の現状把握と実態など種々の問題について、調査を進めてまいります。道路は市民生活に一番身近なものであり、地域社会の安定的な暮らしには重要なものであると認識して、調査を進めてまいります。



目指す議会改革

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次の事務調査を行います。

○課題は市民参画の推進

前期の委員会の総括として、本年第1回定例会に提出され名による新たな議会改革特別委員会が設置されました。

■事務調査

委員会の事務調査

委員会名	調査番号	調査件名
経済建設委員会	調査第3号	市民福祉委員会
調査第2号	調査第1号	総務文教委員会
道路・橋梁の維持管理について	介護保険と介護サービスについて	学校教育施設について

委員長 東海林
副委員長 岡本
委員 佐々木
委員 大栗
委員 天野
委員 粟孝
委員 菊地
委員 紀則
委員 江優
委員 岡俊剛

た委員会報告では、市民の議会に対する関心の喚起、施策の議決過程の説明責任をどう果たすか、市民参加の推進の具体化などを今後の課題としております。本委員会では、これを基礎としながら、住民と議員間、首長と議員、また、議員間の討議のあり方なども検討課題とし、市民参画が議会の水準向上につながる論議を深めてまいります。

表紙記事

健康増進施設の利用者が13,500人を超える
中心街活性化センター「ふらつと」が4月30日にオープンし、健康増進施設（プール、トレーニングルーム等）の利用者が6月末現在で、13,500人を超えました。
表紙の写真は、多目的プールで開催された水中体操教室を撮影いたしました。

本会議等の開催状況

◆平成18年1月から12月までの本会議、常任、特別委員会等の開催状況をお知らせします。

■本会議の開催状況

定期会	区分		会期日数	会議日数	区分		会期日数	会議日数
	第1回(2/27~3/20)	22	6	6	第1回(1/20)	1	1	1
	第2回(6/27~7/7)	11	4	4	第2回(5/26)	1	1	1
	第3回(9/5~15)	11	4	4	第3回(6/2)	1	1	1
	第4回(12/11~22)	12	5	5	第4回(9/29)	1	1	1
	計	56	19		第5回(11/27)	1	1	5
					計	5	5	

■常任委員会等の開催状況

常任委員会	区分		開催日数	区分		開催日数
	総務文教	市民福祉		予算審査	決算審査	
経済建設委員会	20	14	21	16	16	16
計	55			24	24	24
議会運営委員会	25			50	50	50
				議員協議会	4	4
				代表者会議	14	14

可決された 意見書

◇ 第2回定例会に議員提案された意見書は次の6件です。いずれも可決後、直ちに関係機関に送付しました。

議会日誌

5月

- 1日
- 2日
- 8日
- 11日
- 15日
- 22日
- 24日
- 28日
- 29日
- 31日
- 議会運営委員会
- 総務文教委員会
- 市民福祉委員会
- 経済建設委員会
- 議会改革特別委員会
- 議会広報特別委員会
- 議員協議会
- 沿線議長会総会
- 議会広報特別委員会
- 全道市議会議長会道北支部総会
- 第2回定例会告示
- 北海道市議会議長会総会
- 代表者会議
- 議会運営委員会

6月

- 4日
- 11日
- 12日
- 13日
- 14日
- 18日
- 19日
- 20日
- 27日
- 議会広報特別委員会
- 第2回定例会(3日目)
- 代表者会議
- 議会運営委員会
- 議員協議会
- 議会改革特別委員会
- 第2回定例会(4日目)
- 議員会総会
- 全国市議会議長会定期総会
- 市民福祉委員会
- 経済建設委員会
- 学校給食組合議会
- 衛生組合議会
- 消防組合議会

7月

- 2日
- 3日
- 4日
- 5日
- 9日
- 12日
- 13日
- 17日
- 19日
- 20日
- 24日
- 代表者会議
- 議会改革特別委員会
- 市民福祉委員会
- 総務文教委員会
- 議会広報特別委員会
- 総務文教委員会
- 経済建設委員会
- 代表者会議
- 議会広報特別委員会
- 議会改革特別委員会
- 経済建設委員会
- 串内草地組合議会
- 総務文教委員会
- 議会広報特別委員会

- 地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の着実な推進に関する意見書
- (岡本 俊議員外6名) WTO及び日豪EPAなど重要農産物の貿易交渉に関する意見書
- 道路整備に関する意見書
- (東海林 剛議員外5名) 労働法制の拡充を求める意見書
- 新たな「地方公共団体財政見書
- (佐々木 優議員外3名)

健全化法」に関する意見書
(岡本 俊議員外6名)

● 最低賃金の大幅引き上げと

均等待遇の実現を求める意見書
(佐々木 優議員外3名)

平成19年度 市議会議員会総会を開催

【議員会役員】

監	監	理	理	理	副	会
事	事	事	事	事	会	長

岡 佐 宮 大 広 横 穴
々 野 木 田 栗 瀬 山 戸
孝 民 寛 久 仁 雄 義
則 優 均 江 人 雄 美

傍聴してみませんか

平成19年第3回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日程】

- | | |
|------------------|-----------------|
| ● 9月 3日(月) 開会日 | ● 9月 12日(水) 予備日 |
| ● 9月 10日(月) 一般質問 | ● 9月 14日(金) 最終日 |
| ● 9月 11日(火) 一般質問 | |

※開会日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程を確認してください。
多くの方の傍聴をお待ちしています。お問い合わせ/議会事務局 TEL39-2322

編集後記

▼ 富良野市議会は、5月1日より18名の議員にてスタートしました。

▼ 議会広報委員は、新人議員3名を加え7名体制で、より充実した議会広報として決意を新たにした所であります。

▼ 前期においても紙面の充実・改革として、表紙を年1回カラーリにしたり、字を大きくするなど、愛読されるよう努力をしてきました。

▼ 議会は市民の皆様にとってより身近な存在、また、開かれた議会でもなければなりません。そのためにも議会広報は、定期会、臨時会、各委員会活動等を年4回広報誌にて、市民にお伝えして行く計画です。

▼ 私も議会広報委員を務め3年目であり、臨時号も含め、9回の広報誌発行に携わりました。その思いが議会に反映された事の重大さ、発行するたびに市民に十分な議会の内容が伝えられたのであろうか、また、皆様の思いが議会に反映されたであろうか、まだまだ疑問は残っています。

▼ 今後も最良の広報誌作りに励む所存であります。今まで同様ご愛読いただきますよう、宜しくお願い致します。

議会広報特別委員会
委員長 岡野孝則